



労働基準監督官
後尾 監督官

令和2年4月 任官

労働基準監督官を志望した理由を教えてください

私は最初、民間企業を志望していたのですが、家族や友人に気になっている企業を伝えたところ、良くない労働環境の噂しか聞かず、就職に希望を持つことができませんでした。

そんな時に、より良い労働環境を作るための仕事に従事することができる労働基準監督官の仕事を知りました。

労働基準監督官について調べたところ、今まで自分が思っていた公務員のイメージとは違うような印象を受け、労働基準監督官の仕事が面白そうだと感じたため、志望することにしました。また、出張が多いということも、惹かれたポイントの一つです。

現在の仕事内容について教えてください

現在は労働基準監督署の安全衛生課に所属しています。安全衛生課では、主に機械設備の審査や検査、労働災害防止のための啓発指導を行っています。安全衛生課と聞けば、前者のイメージが強いかもしれませんが、災害防止のためのパトロールも、多いときは週2～3回行うことがあり、府や市の土木事務所の方たちと共に現場に赴き、状況確認を行うことがあります。訪れる場所としては、工事・解体現場、採石場、災害復旧工事の現場など様々です。

印象に残ったエピソードがあれば教えてください

任官して間もない頃、労働者が工事現場の足場から墜落した災害調査を担当したことがありました。

当初、その労働者は集中治療室に入り意識が戻らない状態と聞いていましたが、病院から意識を取り戻したという一報がありました。それを聞いた会社関係者が安心して泣き崩れているのを目の当たりにした際に、自分が労働基準監督官として、災害防止のために、しっかり現場の環境を指導・是正して、このような思いをする人を減らしていけないといけなくて改めて認識させられました。

仕事をしてみて面白いと感じたことはありますか

労働基準監督官として、監督や災害調査のため様々な事業場を訪れますが、製造工場の裏側など、普段生活している中では見ることができない光景を見れる点が面白い点だと思います。京都ならではだと思っておりますが、寺社仏閣を訪れることも少なくありません。

より良い労働環境を作ることができるうえ、自分自身も多種多様な経験ができるのが、労働基準監督官の良いところだと思います。

受験生へのメッセージをお願いします！

労働基準監督官は、デスクワークもありますが、出張の多い仕事です。もちろん自分の裁量で出張の頻度を調整することができますが、書類だけではわからないことが多くあるので、とりあえず現場に赴き、直接自分の目で見て判断するように心がけています。

多種多様な会社、労働者と関わることで、様々な経験ができるので楽しい仕事です。

任官当初は、法令を覚えることから始まるので大変だと思うのですが、上司や周りの職員がサポートしてくれるので、不安に思うことはありません。

是非、労働基準監督官を目指してみませんか。